

第4学年国語科学習指導案

指導者 馬場直幸


- I 単元名 物語を読んでしようかいしょう
 学習材名 中心学習材 一つの花 (光村 四上)
 補助学習材 「平和」をテーマにした本

II 単元の指導構想

1 学習指導要領に示されている指導目標

第3学年及び第4学年の「C 読むこと」の指導目標は、「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる」ことである。

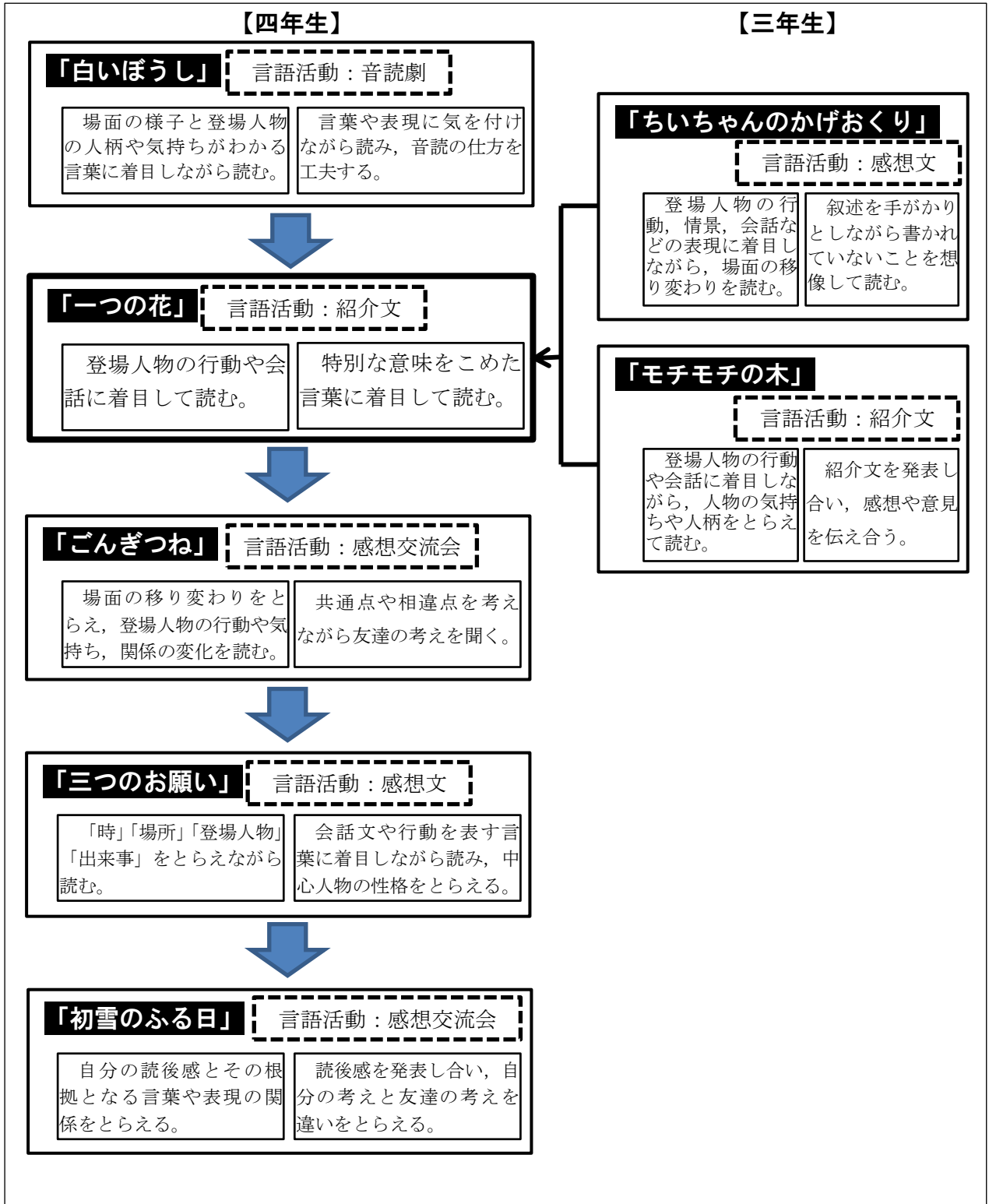
2 単元について

<p><学習材(言語活動)について> 本単元では、「C 読むこと」の「ウ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと」「オ 文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと」を重点的な指導事項とする。そのために、言語活動例「エ 紹介したい本を取り上げて説明すること」をより具現化し、「本の紹介文を書く」という言語活動を設定する。</p> <p>具体的には、「平和」をテーマにした本を並行読書で読み、その中から自分が選んだ本について「紹介カード」として書きまとめる言語活動を位置付けた。ここで取り上げる紹介カードは、付けたい力をもとに以下のような観点で書きまとめていく。このことで本単元でねらう「登場人物の気持ちや情景を想像して読む」ことを実現できるようにしている。</p>	<p><目指す子どもの姿></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「一つの花」や「平和」をテーマにした本を、特別な言葉(「一つだけ」など)や情景を表す言葉に着目しながら読み、その言葉の持つ意味について考えを深め、発表したり、紹介カードに書いたりしている。 ○ 「一つの花」や「平和」をテーマにした本を読んでもった自分の考えを友達との対話を通して交流し、友達の考えのよさを認めたり、助言し合ったりすることを通して、一人一人の考えの違いに気付いたり、自分の考えを深めたりしている。 ○ 「平和」をテーマにした本についての紹介カードを、相手(3年生)や目的(『平和』をテーマにした本を読んでもらいたい)を意識しながら書き、進んで紹介している。
<div data-bbox="215 1243 614 1456" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>紹介カードの構成要素</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 本のあらすじ ② 心に残る言葉や文 ③ 心に残る言葉や文を選んだ理由 ④ 「平和」についての考え </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <div data-bbox="215 1512 614 1612" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【既習の力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 要約力…①本のあらすじ </div> <div data-bbox="215 1624 614 1971" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【言語活動を通して付けたい力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 登場人物の気持ちの変化、情景をとらえる力 …②心に残る言葉や文 ○ 心に残る言葉や文を選んだ理由 …③心に残る言葉や文 ○ 文章を読んで自分の考えをもつ力 …④「平和」についての考え </div>	<p><単元の目標></p> <p>(1) 関心・意欲・態度 → (1) 国語への関心・意欲・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「平和」をテーマにした文章や本を進んで読んだり、紹介したい理由が相手に伝わるように考えながら積極的に紹介カードを書いたりしようとする。 <p>(2) 読むこと → (2) 読む能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 場面や時間の移り変わりに注意しながら、登場人物の気持ちや情景などについて、叙述を基に想像して読むことができる。(Cウ) ○ 物語を読んで感じたことや考えたことを発表し合い、友達との感じ方・考え方の違いに気づくことができる。(Cオ) <p>(3) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 → (3) 言語についての知識・理解・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くことができる。(イ(ア))

<復興教育（三つの教育的価値）との関連>

- 1 生命の大切さや心のあり方について【いきる】「①かけがえのない生命」との関わり
「一つの花」や『平和』をテーマにした本を読んだり、紹介するカードを書いたりすることを通して、自分や家族、周囲の人々の生命はかけがえのないものであることを感じ取り、命を大切にす気持ちをもつことができるようにする。
- 2 人のきずなの大切さについて【かかわる】「⑧家族のきずな」との関わり
「一つの花」を読み、まだ幼いゆみ子に対する父母の思いや願いを考えることによって、家族とは、安心して生きていくための生活の基盤となるものであることや、家族の一員である喜びを実感できるようにする。

3 学習の系統（「読むこと」（文学的文章）の関連と発展）



III 指導計画及び評価規準（8時間扱い）

次	時	主な学習活動	指導上の留意点「読み直し」のポイントと内容	評価規準と評価方法
一	1	<ul style="list-style-type: none"> 今まで読んだことのある「平和（戦争）」について書かれた本を紹介し合う。 教師のモデル（紹介カード）を見て、「平和」をテーマにした本を紹介するカードを書くという学習のめあてをもつ。 学習計画を立て、単元の学習の見通しをもつ。 「一つの花」の範読を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ これまでの国語の学習や読書経験を振り返りながら紹介させるようにする。 ○ 教師が作成した「ちいちゃんのかげおくり」の紹介カードを提示することによって単元の学習に対する意欲を高める。 ○ 単元のゴールを確かめ、それに向かうための過程を確認しながら計画を立てる。 	ア 教師によるモデルを見て、学習のめあてをつかんでいる。【学習ノート及び発言】
「平和」をテーマにした本を読み、紹介カードを書こう。（単元のゴール）				
二	2	<ul style="list-style-type: none"> 「一つの花」の設定を確かめ、あらすじをまとめてカードに書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 時・場所・登場人物・出来事を確かめ、あらすじとして短くまとめさせる。 	ウ 「一つの花」のあらすじを叙述に基づきながらまとめ、友達のを取り入れながらよりよい文章に書きまとめている。【紹介カード及び発言】
		あらすじをまとめる上で必要な言葉や文を読み直してよりよい文章に書きまとめる。		
	3	<ul style="list-style-type: none"> 「一つの花」の戦争中と戦争後を比べて読み、心に残る言葉や文を選んでカードに書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 戦争後にはゆみ子が「一つだけ」と言わなくなったことに気付かせその理由についても考えさせる。 	イ 「一つの花」の登場人物の気持ちや情景を表す叙述を基にしながりに心に残る言葉や文を選んでいる。【紹介カード及び発言】
		登場人物の行動を表す言葉や会話文を読み直し、心に残る言葉や文を選ぶ。		
	4 本時	<ul style="list-style-type: none"> 「一つの花」の中の心に残る言葉や文を選んだ理由を考え、カードに書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 登場人物の行動や情景を表す言葉に着目しながら考えると、選んだ理由についての自分の考えを深められることに気付かせる。 	イ 「一つの花」の心に残った言葉や文を選んだ理由を叙述を基にしながりに考えている。【紹介カード及び発言】
		自分が選んだ心に残る言葉や文を読み直し、その意味を考えることによって選んだ理由についての考えを深める。		
	5	<ul style="list-style-type: none"> 「平和」についての自分の考えをカードに書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 物語を読んで感じたことや考えたことが表れるように書かせる。 	エ 言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。【紹介カード及び発表】
		「平和」についての自分の考えを発表し合い、その根拠となる言葉や文を読み直して、よりよい文章に書きまとめる。		
	6	<ul style="list-style-type: none"> 「一つの花」の紹介カードを友達と交流し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子ども同士が互いの考えを認め合いながら、温かい雰囲気の中で交流が進められるようにする。 	ウ 「一つの花」の紹介カードを交流し、一人一人の考え方に違いがあることに気付いている。【紹介カード及び発言】
三	7 8	<ul style="list-style-type: none"> 並行読書で読んできた「平和」をテーマにした本を紹介するカードを書く。 書いたカードを友達と交流し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「一つの花」の学習と同様に「あらすじ」「心に残った言葉や文とその意味」「紹介したい理由」について書くようにさせる。 ○ 紹介カードを友達に読んでもらい、助言してもらおうとともに、三年生に紹介する計画を立てる。（授業時間外） 	エ 言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。【紹介カード及び発表】 ウ 『「平和」をテーマにした本』の紹介カードを交流し、一人一人の考え方に違いがあることに気付いている。【紹介カード及び発言】

IV 本時の指導構想

1 本時の指導

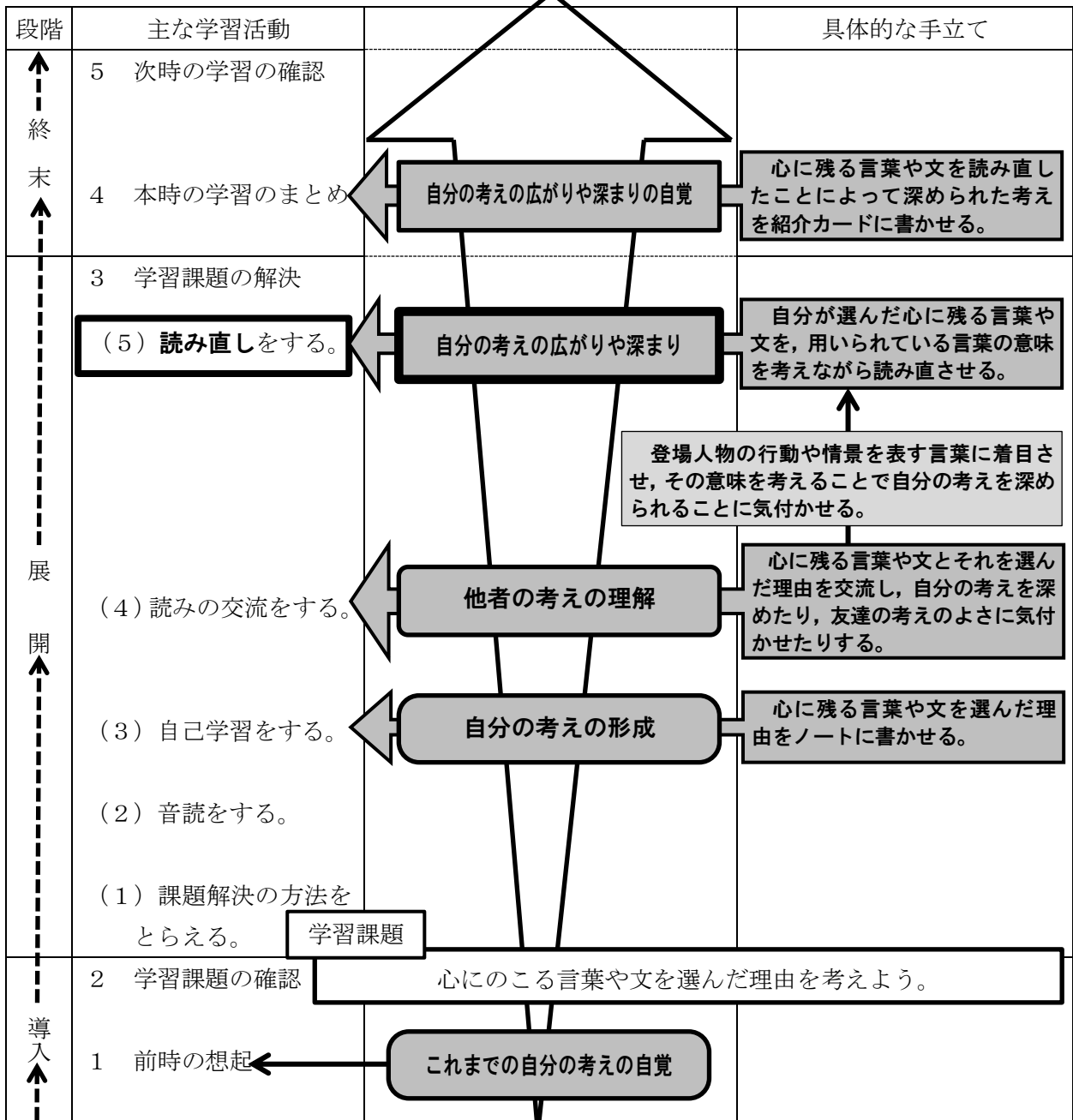
文章を読み、考えを広げたり深めたりする子どもが育つ授業

子ども像

文章を読み、知識や経験と結び付けながらもった自分の考えに、他者のよりよい考えを取り入れることによって、物の見方や考え方を広げたり、自分の思考を論理的なものにしながら深めたりし、話したり書いたりすることを通して自ら表現する子ども

授業像

子どもが文章を読んで自分の考えを広げたり深めたりし、自分の考えを表現することができるよう、「読むこと」の単元における第二次の中心学習材の内容を読み取る場面において、友達のよりよい考えを理解しながら中心となる文や叙述を読み直す学習活動を位置付けた授業



2 目標

登場人物の行動や情景を表す言葉に着目しながら心に残る言葉や文を選んだ理由について考えることができる。

3 展開

段階	学習活動と内容	時間	指導上の留意点 評価
導 入	1 前時の学習内容の振り返りをする。	2	◇ 学習計画表を見て、「平和」をテーマにした本を紹介するカードを書くという単元のめあてに向けて学習を進めていることを確認する。 ◇ 前時は、戦争中と戦争後の様子を比べて読み、心に残る言葉や文を選んだことを想起させる。
	2 本時の学習課題をつかむ。 心に残る言葉や文を選んだ理由を考えよう。	3	
展 開	3 学習課題を解決する。 (1) 課題解決の方法をとらえる。 ○ 学習課題を解決するために気を付けて読みたいことを発表する。	2	◇ 心に残る文で用いられている登場人物の行動や場面の様子を表す言葉に込められている意味を考えながら読むようにさせる。 ◇ 音読する際には、登場人物の行動や場面の様子を表す言葉を見付けながら読むようにさせる。 ◇ 自分の考えがもてずにいる子どもには、着目する言葉を選ばせ、どんな意味が込められているか教師と一緒に考え、ノートに書くようにさせる。 ◇ 自分の考えの根拠となる言葉を明らかにしながら発表させる。 ◇ 同じ言葉や文を選んだ子どもを事前に把握し、指名に生かすことによって、子どもたちが互いの考えの類似点や相違点に気付くことができるようにする。 ◇ 友達の発表を聞いて心に残る言葉や文が変わった子どもも積極的に認め、友達の考えを参考にしながら選んだ理由を考えるように促す。
	(2) 音読をする。 ○ 心に残る言葉や文を含んだ段落を音読する。	1	
	(3) 自己学習をする。 ○ 学習課題に対する自分の考えをノートに書く。	8	
	(4) 読みの交流をする。 ○ 自分の考えを発表するとともに、友達の考えのよさに気付く。 ・ 私は「お父さんは、それを見てにっこりわらうと…。ゆみ子のにぎっている、一つの花を見つめながら一。」を選びました。わけは、家族と別れることに対するお父さんの悲しさやさびしい気持ちが伝わってきたからです。	10	◇ 文中で用いられている登場人物の行動や場面の様子を表す言葉に着目させ、言葉のもつ意味を考えさせることにより、物語全体や心に残る言葉や文に対する自分の考えをさらに深める。 ◇ 必要に応じて自己学習でノートに書いた自分の考えを加筆・修正させる。
	研究にかかると具体的な手立て (5) 読み直しをする。 ○ 自分が選んだ心に残る言葉や文を読み直し、選んだ理由を考える。 ・ 「にっこりわらう」という言葉からお父さんは、食べ物ではなく、美しい花にも喜ぶゆみ子を見てうれしくなったと思う。 ・ お父さんは、「一つの花」に、コスモスの花のようにたくましく生きる人になってほしいという願いを込めたと思う。	10	
終 末	4 本時の学習のまとめをする。 ○ 自分の考えをまとめて、紹介カードに書く。 ・ 私は、「お父さんは、それを見てにっこりわらうと…。ゆみ子のにぎっている、一つの花を見つめながら一。」を選びました。わけは、お父さんが、食べ物ではなく、コスモスの花をもらって喜ぶゆみ子を見て安心し、心豊かなたくましい人になってほしいという願いをこめた「一つの花」を渡したところが心に残ったからです。	8	◇ 読み直しを通して深まったり、新たに生み出されたりした考えを紹介カードに書かせる。 ◇ 紹介カードに書けない子どもには、板書を見て、友達のよりよい考えを取り入れながら書くようにさせる。 心に残った言葉や文を選んだ理由を叙述を基にしながら考えている。【紹介カード及び発言】
	5 次時の学習の見通しをもつ。	1	